

小倉百人一首 一覧表（決まり字数順）

40	10	24	97	41	91	6	51	82	72	26	5	65	74	61	3	52	43	77	81	70	22	57	18	87
しのぶれどいろにいでにけりわがこいは ものやおもふとひとのどふまで	これやこのゆくもかえるもわかれては しるもしらぬもあふさかのせき	このたびはぬきもとりあえずたむけやま もみちのにしきかみのまにまに	こぬひとをまつほのうらのゆうなぎに やくやもしほのみもこかれつつ	こいすちようわがなはまだきたちにけり ひとしれすこそおもひそめしか	きりぎりすなくやしもよのさむしろに ころもかたしきひとりかもねむ	かささぎのわたせるはしにおくしもの しろぎをみればよそふけにける	かくとだにえやわいぶきのさしもぐさ さしもしらしなもゆるおもひを	おもいわびさてもいのちはあるものを うきにたへぬはなみたなりけり	おとにきくたかしのはまのあだなみは かけしやそでのぬれもこそすれ	おぐらやまみねのみじばころあらば いまひとたひのみゆきまたなむ	おくやまにもみじふみわけなくしかの こそきくときそあきはかなしき	うらみわびほさぬそでだにあるものを こひにくちなむなこそをしけれ	うかりけるひとをはずせのやまおろし はけしかれとはいのらぬものを	いにしえのならのみやこのやえぎくら けふここのへにほひぬるかな	あしびきのやまどりのおのしだりおの なかなかしよをひとりかもねむ	あけぬればくるるものとはしりながら なほうらめしきあさほらけかな	あいみてののちのころにくらぶれば わかしはものをおもはさりけり	せをはやみわにせかるるたきがわの われてもすゑにあはむとそおもふ	ほどとぎすなきつるかたをながむれば たたありあけのつきそのこれる	さびしさにやどをたちいでてながむれば いつこもおなしあきのゆふくれ	ふくからにあきのくさきのおしるれば むへやまかせをあらしといふらむ	めぐりあいてみしやそれともわかぬまに くもかくれにしよはのつきかな	すみへのきしによるなみよるさえや ゆめのかよひちひとめよくらむ	むらさめのつゆもまだひぬまきのはに きりたちのほるあきのゆふくれ
20	62	85	46	71	59	47	66	100	94	14	90	33	36	13	23	17	34	89	16	4	55	73	37	40
あきかぜにたなびくくものたえまより もれいつるつきのかけのさやけさ	わびぬればいまはたおなじなになる みをつくしてもあはむとそおもふ	よをこめてどりのそらねははかるとも よにあふさかのせきはゆるさし	よもすがらのおもうころはあけやらで ねやのひまさへつれなかりけり	ゆらのとをわたるふなびとかじをたえ ゆくへもしらぬこひのみちかな	ゆうざればかどたのいなばおとすれて あしのまろやにあきかせそふく	やすらわてねなましものをさよふけて かたふくまでのつきをみしかな	やえむぐらしげれるやどのさびしきに ひとこそみえねあきはきにけり	ももしきやふるきのきばのしのぶにも なほあまりあるむかしなりけり	もろどもにあわれとおもえやまぎくら はなよりほかにしるひともなし	みよしののやまのあきかぜさよふけて ふるさとさむくころもうつなり	みちのくのしのぶもじざりたれゆえに みたれそめにしわれならなくに	みせばやなおじまのあまのそでだにも ぬれにそぬれしるはかはらす	ひさかたのひかりのどけきはるのひに しつこころなくはなのちるらむ	なつのよはまだよいながらあけぬるを くものいつこにつきやとるらむ	つくばねのみねよりおつるみなのがわ こひそつもりてふちとなりぬる	つきみればちぢにもこそかなしけれ わかみひとつのあきにはあらねと	ちはやぶるかみよもきかざつたがわ からくれなるにみつくとくとは	たれをかもしるひとにせんたかきこの まつもむかしのともならなくに	たまのおよたえなばたえねながらえは しのふるこのよはりもそする	たちわかれないなばのやまのみねにおうる まつとしきかはいまかへりこむ	たごのうらにうちいでてみればしるたえの ふしのたかねにゆきはふりつつ	たきのおとはたえてひさしくなりぬれど なこそなかれてなほきこえけれ	たかきこのおのえのさくらさきにけり とやまのかすみたすもあらなむ	しらつゆにかぜのふきしくあきのは つらぬきとめぬたまそちりける

小倉百人一首 一覧表（決まり字数順）

2	9	96	25	86	53	84	80	48	98	44	95	60	63	21	45	78	58	30	69	56	7	12	39	1
はるすぎてなつきにけらししろたえの ころもほすてふあまのかくやま	はなのいろはうつりにけりないたすらに わかみよにふるななめせしまに	はなきそうあらしのにわのゆきならで ふりゆくものはわかみなりけり	なにしおわばおさかやまのさねかずら ひとにしられてくるよしもかな	なげけとてつきやはものをおもわする かこちかほなるわかなみたかな	なげきつつひとりぬるよのあくるまは いかにひさしきものとかはしる	ながらえばまたこのごろやしのばれん うしとみしよそいまはこひしき	ながからんころもしらざるるかみの みたれてけさはものをこそおもへ	かぜをいたみいわつなみのおれのみの くたけてものをおもふころかな	かぜそよぐならのおがわのゆうぐれは みそきそなつものしるしなりける	おおことのをたえてしなくばなかなかに ひとをもみをもうらみさらまし	おおけなくうきよのたみにおおかな わかたつそまにすみそめのそて	おおえやまいくのみのちのおければ またふみもみすあまのはしたて	いまはただおもいたえなんどばかりを ひとつてならていふよしもかな	いまこんどいいしばかりにながつきの ありあけのつきをまちいてつるかな	あわれともいうべきひとはおもおえて みのいたつらになりぬへきかな	あわじしまかようどりのなくこえに いくよねさめぬすまのせきもり	ありまやまいなのさきはらかせふけば いてそよひとをわすれやはする	ありあけのつれなくみえしわかれより あかつきはかりうきものはなし	あらしふくみむろのやまのみみじはは たつたのかはのにしきなりけり	あらざらんこのよのほかのおもいてに いまひとたひのあふこともかな	あまのはらふりさけみればかすがなる みかさのやまにいてしつきかも	あまつかぜくものかよいいじぶきとじよ をとめのすかたしはしとごめむ	あさじうのおののしのはらしのぶれど あまりてなどかひとのこひしき	あきのたのかりおのいおのとまをあらみ わかころもてはつゆにぬれつつ
11	76	15	50	64	31	83	93	19	88	42	75	68	29	54	38	92	8	28	32	27	49	99	35	67
わたのはらやそしまかけてこぎいでぬと ひにはつけよあまのつりふね	わたのはらこぎいでてみればひさかたの くもぬにまかふおきつしらなみ	きみがためはるののにいてわかみつ わかころもてにゆきはふりつつ	きみがためおしからざりしいのちさえ なかくもかなとおもひけるかな	あさばらけうじのかわざりたえだえに あらはれわたるせせのあしろき	あさばらけありあけのつきとみるまでに よしののさとにふれるしらゆき	よのなかよみちこそなけれおもしろ やまのおくにもしかそなくなる	よのなかはつねにもがもななきさこぐ あまのおふねのつなてかなしも	なにわがたみじかきあしのふしのまも あはてこのよをすくしてよとや	なにわえのあしのかりねのひとよゆえ みをつくしてやこひわたるへき	ちぎりきなかたみにそてをしほりつつ すゑのまつやまなみこさしとは	ちぎりおきしさせもがつゆをいのちにて あはれことしのあきもいぬめり	こころあてにおらばやおらんはつしもの おきまとはせるしらくのはな	こころにもあらでうきよにながらえは こひしかるへきよはのつきかな	わすれじのゆくすえまではかたければ けふをかきりのいのちももかな	わすらるるみをおもわずちかいてし ひとのいのちのをしくもあるかな	わがそてはしおひにみえぬおきのいしの ひとこそしらねかはくまもなし	わがいはおはみやこのたつみしかぞすむ よをうちやまとひとはいふなり	やまざとはふゆぞさびしさまざりける ひとめもくさもかれぬとおもへは	やまがわにかぜのかけたるしがらみは なかれもあへぬもみちなりけり	みかのはらわきてながるるいずみがわ いつみきとてかこひしかるらむ	みかきもりえじのたくひのよるはもえ ひるはきえつつものをこそおもへ	ひともおしひともうらめしあじきなく よをおもふゆゑにものおもふみは	ひとはいきこころもしらざるさとは はなそむかしのかにほひける	はるのよのゆめばかりなるたまくらに かひなくたたむなこそをしけれ